

第2回学校評議員会 会議録

日 時 令和7年2月4日(火) 14:20～15:00

場 所 男鹿工業高校 会議室

参加者 学校評議員(3名)

加賀谷 正人様 石川 敦様 畠山 千夏子様

(欠席者) 清水 隆成様 菊地 修様

男鹿工業高校(12名)

筒井 勝(校長) 柴田 修(教頭)

宇佐美晋哉(総務主任) 浅沼 千愛(教務副主任)

柴田 久寛(生徒指導主事) 石井 英樹(進路指導主事)

児玉 勉(特別活動主任) 齊藤 孝輔(1年部主任)

永井 敦子(2年部主任) 虻川 慶春(3年部主任)

児玉 勉(機械科代理) 猿田 英幸(電気電子科主任)

司 会 男鹿工業高校 柴田 修 教頭

資 料	1	令和6年度 第2回学校評議員会	1部
	2	令和6年度 あきた型学校評価	1部
	3	令和6年度 保護者・教員・授業アンケート	1部

1 開会

2 校長あいさつ

本会議への出席のお礼、学校の近況として、校内の感染症の状況、学校祭、3年生の就職内定状況、1次募集出願状況、男鹿地区統合校、部活動の最近の活躍状況について説明を行った。

今後のご指導・ご鞭撻を頂戴したいことと、本日の会で忌憚のない意見、提言を頂戴したい旨を伝えた。

3 学校評価(柴田 修 教頭)

1) あきた型学校評価

総務部→重点目標を3つ掲げ、業務プロセスを改善することで、労力を集中させた。

教務部→授業改善重点事項を継続推進。今年度互見授業を実施。組織的な授業改善に繋がるよう取り組むことが課題。

生徒指導部

→基本的生活習慣の確立を目指した。

進路指導部

→今年度第1希望の内定・合格率は、就職は昨年が例年より5ポイント上昇、今年度はさらに1.1ポイント上昇。進学は国公立進学へ1名合格。昨年からの求人票をはじめとしたペーパーレス化導入。

特別活動部

→学校祭来場者数の増と部活動の活性化が課題。

機械科

→生徒の主体的な学習を促す指導方法の更なる工夫が必要。

電気電子科

→第2種電気工事士の受検者、合格者の増を目標。

設備システム科

→資格取得指導に取り組み、目標を概ね達成。

1年部

→生徒への指導の浸透に課題。

2年部

→インターンシップや修学旅行の行事を通して、規律ある生活について指導。

3年部

→進路実現のため丁寧な指導で目標を達成。

2) 保護者・教員による学校評価

保護者

→概ね昨年度同様。要望への評価と力を入れて欲しいことについては更なる改善と向上に努める。学校評価の結果を踏まえ、学校教育活動の改善に取り組む。

教員

→各項目とも概ね昨年同様。教員の意識、評価の向上が学校として必要な課題。

3) 授業アンケート

→若干評価が下がった項目あり。情報を共有し、組織的な授業改善に繋げたい。

以上は本校ホームページに掲載。あきた型学校評価は、評議員評価を得たのちホームページに掲載予定。

4 質疑応答・意見交換・提案

〈質問1〉加賀谷正人 様

タブレットの使用状況と校務支援システムについて

〈回答〉 虻川情報管理担当教諭 柴田教頭

令和3年度に導入され、令和8年度まで貸与されている。故障・修理その他については学校で補償している。令和9年度からは個人購入になっていくことが予想される。Wi-Fi等のセキュリティー上の課題等がまだある。

校務支援システムについては、利便性が高く教職員の働き方改革にも繋がっていると考える。まだ使い切れていないメニューもあるが、さらに利便性を高めていきたい。

〈質問2〉 畠山千夏子 様

球技大会の競技不参加の理由

〈回答〉 永井2年部主任 児玉特活主任

卓球の審判が忙しく、自分のエントリーした競技が始まってから参加できない状況であった。来年度から改善事項としたい。

5 校長謝辞

6 閉会